

日本政府は核兵器禁止条約に参加を！ 「ヒバクシャ国際署名」にご協力ください

禁止条約の発効まであと4か国！

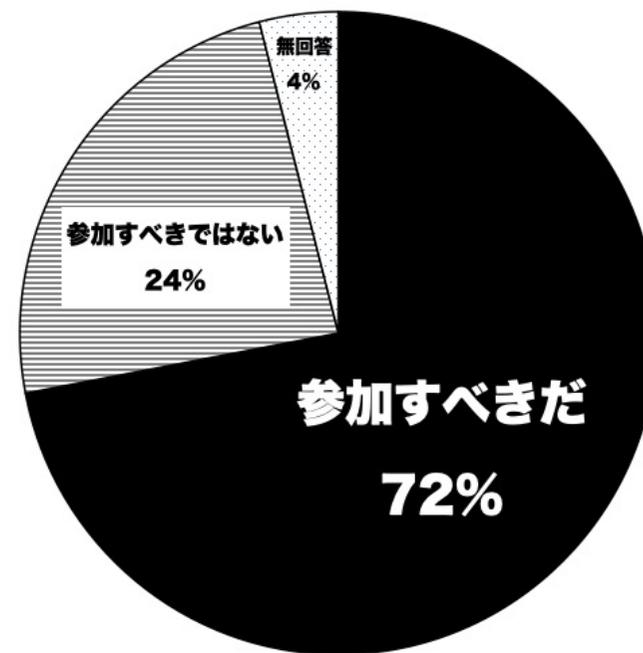
2017年7月7日、国連で122か国が賛成して核兵器禁止条約が採択されました。核兵器に関するあらゆる活動を禁止する、歴史上はじめての条約です。現在84か国が調印し、批准国は46か国となり、条約の発効に必要な50か国まであと4か国となりました。核兵器禁止条約の発効は、核兵器廃絶への大きな一歩です。

ところが、日本政府は、米国の「核の傘」に守ってもらおうという「核抑止力」論のもと核兵器禁止条約に反対し続けています。抑止力というのは、いざという時に、核兵器の使用は許されるという立場です。

INF（中距離核戦力）全廃条約の失効に続いて2021年2月には新戦略兵器削減条約（新START）が失効するなど、核大国主導の核軍備管理体制が行き詰まり、自国優先主義が対立と混乱に拍車をかける中で、世界の平和と安全の保証が紛争の平和解決、核兵器廃絶の方向にしかないことがますます明らかになっています。

いまこそ「唯一の戦争被爆国」にふさわしく、核兵器禁止条約に率先して参加し、核兵器廃絶の先頭に立つ日本に転換しましょう。被爆者がよびかけた「ヒバクシャ国際署名」にご協力ください。（2020・10・6）

戦後75年世論調査（日本世論調査会2020年7月）
日本は核兵器禁止条約に参加すべき？



「ヒバクシャ国際署名」はQRコードから署名できます！



国連認証NGO：原水爆禁止日本協議会（日本原水協）
〒113-8464 東京都文京区湯島2丁目4-4
Tel 03-5842-6031 HP :<http://www.antiatom.org>